

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニットジェネラルマネージャー (氏名) 橋高 公久 (TEL) 03-5572-0233
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	341,170	12.8	178,997	13.7	194,089	28.9	52,447	74.9
26年3月期第1四半期	302,505	△2.7	157,377	△15.9	150,624	△27.3	29,988	△57.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 31,724百万円(△65.3%) 26年3月期第1四半期 91,404百万円(64.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	35.91	—
26年3月期第1四半期	20.54	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,069,288	3,023,739	69.0
26年3月期	4,038,139	2,996,036	69.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期2,808,907百万円 26年3月期2,791,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3,600.00	—	9.00	—
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。なお、平成26年3月期の第2四半期末の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

(注3) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	658,000	1.2	330,000	△4.1	354,000	1.0	90,000	12.4	61.63
通期	1,316,000	△1.4	635,000	△13.4	701,000	△6.5	178,000	△3.1	121.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2.(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	1,462,323,600株	26年3月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,966,400株	26年3月期	1,966,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	1,460,357,200株	26年3月期1Q	1,460,357,200株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。なお、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割は実施致していません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3,600.00	—	3,600.00	7,200.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		3,600.00	—	3,600.00	7,200.00

(注) 平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	13
4. 参考情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は原油の販売数量の増加、油価及びガス価の上昇に加え、期中平均レートが円安に推移したことにより、売上高は前年同期比386億円、12.8%増の3,411億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比358億円、18.8%増の2,264億円、天然ガス売上高は前年同期比18億円、1.7%増の1,097億円となりました。当第1四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比1,629千バレル、8.7%増加の20,319千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比5,836百万立方フィート、7.2%減少の75,512百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比6,125百万立方フィート、9.2%減少の60,354百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比8百万立方メートル、1.9%増加の406百万立方メートル、立方フィート換算では15,158百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり108.84米ドルとなり、前年同期比5.78米ドル、5.6%の上昇となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり13.10米ドルとなり、前年同期比0.51米ドル、4.1%の上昇となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり57円51銭となり、前年同期比8円27銭、16.8%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル101円99銭となり、前年同期比3円34銭、3.4%の円安となりました。

売上高の増加額386億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の増加により89億円の増収要因、販売単価の上昇により186億円の増収要因、為替は売上の平均為替レートが円安になったことにより101億円の増収要因、その他の売上高は9億円の増収要因となりました。

一方、売上原価は、主にADMA鉦区における売上増に伴うロイヤリティの増加、減価償却費の増加及び平均為替が円安に推移したことにより、前年同期比137億円、11.7%増の1,318億円となりました。探鉦費は主に米州やオセアニア地域での探鉦活動が増加したことにより、前年同期比13億円、18.5%増の85億円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比19億円、9.7%増の217億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比216億円、13.7%増の1,789億円となりました。

営業外損益では、為替差益や持分法投資利益が増加したことにより、営業外収益が、前年同期比105億円、124.5%増の190億円となりました。一方、営業外費用は、前年同期比113億円、74.3%減の39億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比434億円、28.9%増の1,940億円となりました。

法人税、住民税及び事業税は前年同期比419億円、44.0%増の1,373億円、法人税等調整額は4億円となり、少数株主損益調整前四半期純利益は前年同期比244億円、76.9%増の563億円となりました。少数株主利益は39億円となり、以上の結果、四半期純利益は前年同期比224億円、74.9%増の524億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

天然ガスの販売数量の増加やガス価の上昇により、売上高は前年同期比52億円、20.5%増の306億円となり、営業利益は前年同期比13億円、37.8%増の50億円となりました。

②アジア・オセアニア

原油の販売数量の増加に加え、油価及びガス価の上昇や為替が円安に推移したことにより、売上高は前年同期比15億円、1.3%増の1,149億円となり、営業利益は前年同期比32億円、5.8%増の586億円となりました。

③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

販売数量の増加に加え、油価の上昇や為替が円安に推移したことにより、売上高は前年同期比91億円、34.5%増の354億円となり、営業利益は前年同期比47億円、36.9%増の174億円となりました。

④中東・アフリカ

販売数量の増加に加え、油価の上昇や為替が円安に推移したことにより、売上高は前年同期比217

億円、16.1%増の1,567億円となり、営業利益は前年同期比160億円、17.8%増の1,062億円となりました。

⑤米州

販売数量は減少したものの、ガス価の上昇や為替が円安に推移したことにより、売上高は前年同期比10億円、47.0%増の33億円となりましたが、探鉱費の増加等により、営業損失は前年同期比36億円、166.0%増の58億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4兆692億円となり、前連結会計年度末の4兆381億円と比較して311億円の増加となりました。資産増加の主な内訳は、建設仮勘定の増加により有形固定資産が834億円増加したことによるものです。

一方、負債は1兆455億円で、前連結会計年度末の1兆421億円と比較して34億円の増加となりました。このうち流動負債は3,855億円で、前連結会計年度末比99億円の増加、固定負債は6,599億円で、前連結会計年度末比64億円の減少となりました。

純資産は3兆237億円となり、前連結会計年度末比277億円の増加となりました。このうち、少数株主持分は2,148億円で、前連結会計年度末比99億円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の1,175億円から当第1四半期中に減少した資金241億円を差し引いた933億円となりました。

当第1四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比111億円減の429億円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が増加したものの、売上債権が増加したこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比62億円減の649億円となりました。これは主に、長期貸付金の回収による収入の減少や有形固定資産の取得による支出の増加があった一方、定期預金の払戻による収入の増加や長期預金の預入による支出の減少があったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比129億円増の10億円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想については、平成27年3月期第1四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、平成26年5月9日に公表の数値から下記のとおり
の修正を行いました。

1. 第2四半期連結累計期間業績予想（平成26年4月1日～平成26年9月30日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	643,000	309,000	336,000	80,000
今回修正予想(B)	658,000	330,000	354,000	90,000
増減額(B-A)	15,000	21,000	18,000	10,000
増減率(%)	2.3	6.8	5.4	12.5

2. 通期連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,331,000	638,000	694,000	171,000
今回修正予想(B)	1,316,000	635,000	701,000	178,000
増減額(B-A)	△15,000	△3,000	7,000	7,000
増減率(%)	△1.1	△0.5	1.0	4.1

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想	今回修正予想
原油価格 (ブレント)	通期平均 105.0ドル/バレル	第1四半期実績 109.8ドル/バレル 第2四半期以降 105.0ドル/バレル 通期平均 106.2ドル/バレル
為替 (対米ドル)	通期平均 100.0円/ドル	第1四半期実績 102.2円/ドル 第2四半期以降 100.0円/ドル 通期平均 100.5円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 「退職給付に関する会計基準」等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が246百万円減少し、利益剰余金が235百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	650,187	635,295
受取手形及び売掛金	110,395	147,053
有価証券	201,000	184,668
たな卸資産	25,485	27,318
その他	170,779	188,604
貸倒引当金	△17,643	△17,286
流動資産合計	1,140,204	1,165,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	145,936	142,113
坑井（純額）	25,348	24,033
機械装置及び運搬具（純額）	112,898	110,139
土地	19,736	19,672
建設仮勘定	626,520	713,457
その他（純額）	21,339	25,769
有形固定資産合計	951,779	1,035,185
無形固定資産		
のれん	81,080	79,390
その他	358,098	352,138
無形固定資産合計	439,178	431,528
投資その他の資産		
投資有価証券	476,407	454,203
生産物回収勘定	685,990	701,518
その他	472,175	411,376
貸倒引当金	△885	△850
生産物回収勘定引当金	△123,483	△126,058
探鉱投資引当金	△3,226	△3,269
投資その他の資産合計	1,506,977	1,436,919
固定資産合計	2,897,935	2,903,634
資産合計	4,038,139	4,069,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,811	52,846
短期借入金	21,954	25,498
未払法人税等	91,198	85,467
探鉱事業引当金	9,816	9,049
役員賞与引当金	110	31
資産除去債務	2,353	1,804
その他	203,425	210,881
流動負債合計	375,670	385,580
固定負債		
長期借入金	561,674	551,345
退職給付に係る負債	7,793	7,492
事業損失引当金	6,977	6,868
特別修繕引当金	234	245
資産除去債務	25,954	28,948
その他	63,798	65,068
固定負債合計	666,432	659,968
負債合計	1,042,102	1,045,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,287	679,287
利益剰余金	1,532,876	1,572,415
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,497,725	2,537,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,737	44,374
繰延ヘッジ損益	△17,578	△11,242
為替換算調整勘定	266,224	238,510
その他の包括利益累計額合計	293,382	271,642
少数株主持分	204,928	214,832
純資産合計	2,996,036	3,023,739
負債純資産合計	4,038,139	4,069,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	302,505	341,170
売上原価	118,034	131,807
売上総利益	184,470	209,362
探鉱費	7,236	8,575
販売費及び一般管理費	19,855	21,789
営業利益	157,377	178,997
営業外収益		
受取利息	4,726	2,328
受取配当金	1,281	1,479
持分法による投資利益	—	3,511
為替差益	—	9,913
その他	2,458	1,774
営業外収益合計	8,466	19,008
営業外費用		
支払利息	616	604
持分法による投資損失	2,137	—
生産物回収勘定引当金繰入額	1,090	586
探鉱事業引当金繰入額	404	1,204
為替差損	8,650	—
その他	2,318	1,521
営業外費用合計	15,219	3,917
経常利益	150,624	194,089
税金等調整前四半期純利益	150,624	194,089
法人税、住民税及び事業税	95,345	137,302
法人税等調整額	23,426	438
法人税等合計	118,772	137,741
少数株主損益調整前四半期純利益	31,852	56,347
少数株主利益	1,863	3,900
四半期純利益	29,988	52,447

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31,852	56,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,796	△363
繰延ヘッジ損益	△7,450	—
為替換算調整勘定	71,629	△29,776
持分法適用会社に対する持分相当額	△21,423	5,517
その他の包括利益合計	59,551	△24,623
四半期包括利益	91,404	31,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,922	30,706
少数株主に係る四半期包括利益	3,481	1,017

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	150,624	194,089
減価償却費	11,835	12,886
のれん償却額	1,690	1,690
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	5,169	2,574
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	△2,176	△750
退職給付引当金の増減額(△は減少)	77	—
その他の引当金の増減額(△は減少)	55	△72
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△51
受取利息及び受取配当金	△6,008	△3,808
支払利息	616	604
為替差損益(△は益)	9,215	△6,495
持分法による投資損益(△は益)	2,137	△3,511
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	14,224	18,536
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△9,704	△13,671
売上債権の増減額(△は増加)	6,717	△36,710
たな卸資産の増減額(△は増加)	210	△1,904
仕入債務の増減額(△は減少)	△615	5,987
その他	19,032	10,003
小計	203,103	179,396
利息及び配当金の受取額	7,595	9,756
利息の支払額	△322	△200
法人税等の支払額	△156,250	△146,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,126	42,949
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,125	△40,961
定期預金の払戻による収入	38,501	163,306
長期預金の預入による支出	△133,240	△81,698
長期預金の払戻による収入	15,000	—
有形固定資産の取得による支出	△74,180	△108,128
有形固定資産の売却による収入	231	27
無形固定資産の取得による支出	△365	△791
有価証券の売却及び償還による収入	85,144	35,000
投資有価証券の取得による支出	△10,217	△5,239
投資有価証券の売却及び償還による収入	33,319	15,000
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△26,364	△20,571
短期貸付金の増減額(△は増加)	△690	△972
長期貸付けによる支出	△14	△2,056
長期貸付金の回収による収入	71,167	81
権益取得による支出	△20,222	△17,929
その他	874	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,182	△64,935

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	74	20
長期借入れによる収入	21,064	5,058
長期借入金の返済による支出	△285	△4,239
少数株主からの払込みによる収入	1,451	8,886
配当金の支払額	△10,356	△10,653
その他	△7	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,938	△1,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,095	△1,180
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22,977	△24,173
現金及び現金同等物の期首残高	199,858	117,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	222,836	93,357

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,396	113,435	26,368	135,001	2,302	302,505	—	302,505
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	25,396	113,435	26,368	135,001	2,302	302,505	—	302,505
セグメント利益又は損失(△)	3,695	55,375	12,735	90,203	△2,193	159,816	△2,438	157,377

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,438百万円は、セグメント間取引消去58百万円及び各報告セグメントに配分して
いない全社費用△2,497百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないの
れんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	30,602	114,955	35,473	156,754	3,384	341,170	—	341,170
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30,602	114,955	35,473	156,754	3,384	341,170	—	341,170
セグメント利益又は損失(△)	5,092	58,603	17,438	106,246	△5,834	181,545	△2,548	178,997

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,548百万円は、セグメント間取引消去52百万円及び各報告セグメントに配分して
いない全社費用△2,600百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないの
れんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
日本	原油	0.3百万バレル (日量3.3千バレル)	0.3百万バレル (日量3.0千バレル)
	天然ガス	10.3十億CF (日量113.3百万CF)	10.1十億CF (日量110.7百万CF)
	小計	2.2百万BOE (日量24.6千BOE)	2.2百万BOE (日量23.8千BOE)
	ヨード	119.3t	128.4t
	発電	55.5百万kWh	56.7百万kWh
アジア・オセアニア	原油	4.5百万バレル (日量49.7千バレル)	3.5百万バレル (日量38.2千バレル)
	天然ガス	58.3十億CF (日量640.7百万CF)	61.3十億CF (日量673.5百万CF)
	小計	15.5百万BOE (日量170.6千BOE)	15.0百万BOE (日量165.0千BOE)
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	2.4百万バレル (日量26.9千バレル)	2.3百万バレル (日量25.5千バレル)
中東・アフリカ	原油	15.2百万バレル (日量166.9千バレル)	14.7百万バレル (日量162.0千バレル)
米州	原油	0.1百万バレル (日量1.1千バレル)	0.2百万バレル (日量2.4千バレル)
	天然ガス	9.4十億CF (日量103.3百万CF)	9.2十億CF (日量101.3百万CF)
	小計	1.8百万BOE (日量19.4千BOE)	1.9百万BOE (日量20.4千BOE)
合計	原油	22.6百万バレル (日量248.0千バレル)	21.0百万バレル (日量231.0千バレル)
	天然ガス	78.0十億CF (日量857.4百万CF)	80.6十億CF (日量885.5百万CF)
	小計	37.2百万BOE (日量408.3千BOE)	36.1百万BOE (日量396.7千BOE)
	ヨード	119.3t	128.4t
	発電	55.5百万kWh	56.7百万kWh

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から6月30日の実績となっております。

4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第1四半期連結累計期間は原油30.4百万バレル(日量334.0千バレル)、天然ガス106.7十億CF(日量1,172.9百万CF)、合計50.4百万BOE(日量554.0千BOE)、当第1四半期連結累計期間は原油28.5百万バレル(日量313.0千バレル)、天然ガス104.4十億CF(日量1,147.3百万CF)、合計48.1百万BOE(日量528.7千BOE)となります。

5 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量

6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。

7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	178千バレル	1,843	210千バレル	2,349
	天然ガス (LPGを除く)	14,869百万CF	19,620	15,158百万CF	23,360
	LPG	2千バレル	17	2千バレル	14
	その他		3,915		4,877
	小計		25,396		30,602
アジア・オセアニア	原油	2,697千バレル	27,333	2,826千バレル	31,851
	天然ガス (LPGを除く)	56,121百万CF	80,193	50,745百万CF	77,153
	LPG	795千バレル	5,908	734千バレル	5,950
	小計		113,435		114,955
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	2,519千バレル	26,368	3,089千バレル	35,473
中東・アフリカ	原油	13,284千バレル	135,001	14,188千バレル	156,754
米州	原油	11千バレル	117	6千バレル	66
	天然ガス (LPGを除く)	10,358百万CF	2,185	9,609百万CF	3,317
	小計		2,302		3,384
合計	原油	18,689千バレル	190,663	20,319千バレル	226,495
	天然ガス (LPGを除く)	81,348百万CF	101,999	75,512百万CF	103,831
	LPG	797千バレル	5,926	735千バレル	5,965
	その他		3,915		4,877
	合計		302,505		341,170

(注)1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から3月の業績を第1四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。

4 主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、プルトミナへの販売の大部分は天然ガスであり、LNGとして日本、韓国、台湾等の需要家へ販売しております。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
プルトミナ	51,972	17.2	50,437	14.8
出光興産(株)	21,421	7.1	46,161	13.5